

上昇気流があるところに飛行機が来るわけですから、当然揺れます。揺れない雲ももちろんあります。梅雨の時期の雲は意外と揺れません。夏の積乱雲の様な雲にならず、低い所にあるから揺れないんです。私は、中国の上空を飛ぶ事があまり好きではありませんでした。当時の中国はICAO(国際民間航空機関)に入っていなかったんです。管制用語は中国語で、英語が通じない。それと、日本から中国に渡る途中に、レーダーが全く感知しないエリアがあるんです。ちょうど九州から上海に向かう途中にあります。要は、そういう協定に入っていないから、日本からこういう飛行機が行きますよ、という通信が行かないんです。ですから向こうにしてみますと、何か大きな飛行機が近づいてきた！となるわけです。爆撃機のような飛行機も見えてきます。勿論、こちらも一生懸命呼びかけますが、あるエリアでレーダーが利かなくなるので自分達で勝手に高度を変えたりします。

ニアミスがあったりもします。ICAOに入っている国では、高度計はフィートで飛んでいます。ところが、中国に入るとメートルに変わるんです。1,000メートルで言うと、30,000フィートです。指示をメートルで言うので、えっ？となるんですが、コックピットの中にはメートルの高度計とフィートの高度計が二つあります。

九州を過ぎると今度はメートルに変わるので、30,000フィートを今度は26,000~28,000メートルくらいに変えないといけない。変えている最中は、実はレーダーを見ていません。中国も見えていないし、日本も見れない。積乱雲を避けて通りますが、無線が通じないのが怖いのでどンドン逃げます。

その頃は、日本航空が長い間国際線を飛んでいたもので、実績がありました。今は全日空も沢山の飛行機が飛ぶようになりましたが、当時はずっと日本航空の方が上だったんです。カンパニー無線と言って、他社同士も繋がる無線があるのですが、JALの飛行機が近くを飛んでいると、ちょっとすみません、と呼び出して、今〇〇辺りを飛んでいると伝えて、アドバイスを受けながら飛びました。

中国に初めて行った時は、あまりの国の広さに驚きました。30,000フィートくらいで飛んでいますと、日本でしたら太平洋側も日本海側も見えるんです。ところが中国は見渡す限り陸地で、田んぼがある。あの広さを見た時は本当に驚きました。そして、上から見てみると、真っ直ぐなハイウェイのようなものがいっぱいあるんです。

それはハイウェイではなく水路だったんです。そういう事にもカルチャーショックを受けました。空港に着陸するためには、通常ですと管制塔から着陸の許可を貰って着陸します。しかし、中国だけは滑走路の番号を言うんです。着陸して良いのか一生懸命問いかけるんですが、向こうは黙っていて「今あなたの滑走路は36。」しか言わない。「だから降りていいのか？」と何度も聞くんですが、結局何も言ってこない。「もうええわ！」で降りていました。ややこしい国だったなあ、というのは今でも覚えております。

(事務局より：紙面の都合上、お話の途中までの掲載となります。何卒ご了承下さい。)

ここにこ箱



6月例会スケジュールおよび卓話担当者ご案内

- 6月20日 卓話 古川友治 君
- 6月27日 会長・幹事退任挨拶 会長 新井昭人君 幹事 渡邊員行君 予算総会 次年度幹事(会計)

新井 昭人 君 … 乙訓さん、ようこそお越し下さいました。本日は宜しくお願い致します。

明松 孝充 君 … バッジ忘れしました。

片平 聡 君 … 最近欠席続きですみませんでした。

第1195回例会

ニコニコ箱 ¥ 7,000
今年度累計 ¥ 612,000

第1195回例会出席報告

総 会 員 数	17名
名 誉 会 員 数	4名
出席計算会員数	17名
出 席 席	10名
メ ー ク ア ッ プ	0名
欠 席	7名
出 席 率	58.82%
前 回 出 席 率	64.70%

☆皆出席テーブル なし

☆メイクアップ なし

☆ビジター
元全日空機長 乙訓昭法様

第1196回例会

2023年6月20日

関西国際空港ロータリークラブ



日野自動車 セレガ観光バス

写真提供・解説：元・住重関西施設管理(株) 片山敏彦 様

関空海上地区の駐車場で見かけた高知県/北幡観光自動車の観光バスです。高知県をPRするため、車体には、坂本龍馬をはじめとする高知ゆかりの人物や高知城、はりまや橋、土佐犬、皿鉢料理など 高知の風物が描かれています。「ローマの休日」にひっかけて、「リョーマの休日」のタイトルが記入されているのが面白いですね。



次 例 会

第 1197 回
2023年6月27日

《会長・幹事退任挨拶》
《予算総会》

会 長 新井昭人 君
幹 事 渡邊員行 君
次年度会計 田中 洋 君

R.I.第2640地区
関西国際空港ロータリークラブ

事務局
〒549-0001
大阪府泉佐野市泉州空港北1番地
ホテル日航関西空港内
TEL 072-455-4766
FAX 072-455-4767
e-mail kankurc@rhythm.ocn.ne.jp

例会 毎週火曜日 12:30
ホテル日航関西空港内
(『ジェットストリーム』)
TEL 072-455-1111

会 長 新井昭人
幹 事 渡邊員行
会報委員長 川崎真範
会報委員 高橋克広

今週のプログラム

《 卓 話 》

「恒例のアメリカンチェリー」

担当：古川 友治 君



今週のロータリーソング

手に手つないで

手に手つないで
つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 一つ心に
お> ロータリアン
お> ロータリアン

本日のメニュー

薫焼き鰯の青葱ソース漬け
サラダ仕立て
国産ふかひれと蟹肉入り
卵白とろみスープ
海の幸2種のガーリックソース蒸し
湯浅ぼん酢ソースがけ
牛肉と彩り野菜の
蜂蜜入り黒胡椒ソース炒め
白ご飯

四つのテスト

真実か
どうか

みんなに
公平か

好意と
友情を
深めるか

みんなの
ために
なるか
どうか

国際ロータリー2022-2023年度会長
ジェニファー・ジョーンズ
2022-2023年度
国際ロータリーのテーマ
「イマジンロータリー」



先々週例会報告

第1195回例会 6月13日

関西国際空港ロータリークラブ

会長報告

まず、本日も回覧しております「ガバナーノミネー選出」の件です。

森本ガバナーの提案に対しまして、反対するクラブが過半数を超えているのにガバナーは何もしないとの事で、地区規定審議会代表議員の岡本浩さんが再三質問状を出しておられます。これだけ過半数を超えたクラブからガバナー選出方法に対して立法委員会を開催してほしいという意見が出ているのに、開催されない。

解っていないからやらないのか、解っているのにやらないのか？

このまま何もせずにガバナーの任期を終えるのなら、パストガバナーとしての地位を与えませんかという程の最終通告で、6月20日までに返答を求めています。何故ここまでガバナーや周囲の補佐の方々は何も言わないのか…。私もよく解りません。

最終的にどうなるのか、また新たな動きがありましたらまたお知らせしたいと思います。

今日気になった事としましては、アメリカの上院の外交委員会で、中国の発展途上国の地位をはく奪する事が決議されたというニュースです。それほど大きなニュースにはなっていますが、アメリカも乗り出してきたなあ、と思いました。

アメリカでは上院と下院がありますが、下院の本会議で決議されて上院で審議されて通ればそうなるのですが、今は上院の外交委員会でそのような決議されたようです。

何故中国が発展途上国なのか、という話ですが、日本でもODAで海外援助をしていたようですね。

例えば黄砂の問題で、日本は砂漠に木を植えるという活動をしていると聞きました。しかし、黄砂は向こうではただの砂の粉なのですが、中国の上を通る時に色々有害物質が付着して、日本に到達する時は、毒ガスのような状態らしいですね。向こうだけでいうと黄砂は物凄く良い土で、その土を練って肌に塗るとツルツルになるらしいです。結局、日本が植えた木も一旦成長したらしいのですが、20年経つと水を吸い上げ尽くして枯れてしまい、余計砂漠化しているそうです。

OECに加盟して先進国の扱いになる、と経済や民主主義的や事や、途上国への支援などの支援目的があるんですね。中国は、そういうものに入って自国の金を援助したくない、そういう途上国の地位を持ってれば民主主義的なこともせず、よその国が何かあった時に援助もしなくて済む。そういう事をアメリカは許さない、という事になってきているわけです。

最近では中国も人口が減って来て、経済成長が無い。いずれアメリカを抜くだろうと言われていたのですが、今の経済学者の話によるともうそれは無いだろうという事になっているそうです。

何故かという、アメリカは経済がどんどん成長していつてるんです。理由の一つに中国は人口が減って行っていますが、アメリカは増えてるんです。移民が多いというのもあり、人が増えると経済が活性化する。中国もなかなか苦しい状況なのだと思います。

そういう状況が良いのか悪いのか解りませんが、中国が発展途上国というのはどう考えてもおかしいし、先進国になる気があるのか、それもよく解りません。矛盾を感じるなあという話でございました。

会長 新井 昭人 君



幹事報告

【回覧】

- ◎規定審議会代表議員・岡本浩様よりご報告(5月31日付・先週と同じ)
- ◎和歌山南RC会長・中村和子様より申入書(6月5日付・先週と同じ)
- ◎規定審議会代表議員・岡本浩様より公開質問状(6月9日付)
- ◎ハイライトよねやま vol.1.279号
- ◎泉佐野市役所より、副市長就任のご挨拶
- ◎泉佐野市保護区・社明大会のご案内
日時：令和5年7月8日(土) 午後1時～
場所：エブノ泉の森ホール(小ホール)先着450名(無料・申込手続不要)
- ◎「社会を明るくする運動」泉佐野市保護区実施要綱
- ◎他クラブ例会情報

【配付】

- ◎次年度会報ファイル(1冊ずつお持ち帰りください)

幹事 渡邊 員行 君



卓話

《 関西国際空港の昔話② 》

担当：宮内 良平 君

本日はまた乙訓さんに卓話をお願い致しました。

快く引き受けていただきまして、乙訓さん、本当に有難うございます。

彼は元全日空の機長さんです。こういう知り合いって皆さん少ないと思うんですよ。

私は運よく知り合いになれまして、有難い事だなと思っています。本日は宜しくお願い致します。

講師：元全日空機長 乙訓 昭法 様

本日は前回の続きという事でご指名を受けまして、張り切ってやって参りました。宮内さんとは、もう25年ほどのお付き合いです。

私は54歳で体調を崩した事もあり、全日空を依願退職しました。

これから何をしようかな？と思っていた時に、現役の頃、色々な方や子供達から飛行機についての質問を受けた事を思い出しました。

その経験から、航空業界の様々な事を知って頂く活動が出来ればと思い、長滝に「エアーマンズワーフ」というお店を開業しました。小さなショットバーだったのですが、当時は私も営業に関しては素人。ガスを引くのに近所に「宮内商店」しか無かった事もあり、初めて電話をかけて長滝の事を色々聞いたのが宮内さんだったというわけです。その頃から宮内さんには本当にお世話になっています。

私は航空人生だけでしたので、飛行機の話しか出来ません。苦勞した話は、大小いろいろありますが、飛行機の話に興味のある方が多いとの事ですので、先程も食事をしながらいただいた会報の写真を見てみました。実は、この写真を撮影をされている片山さんという方に、前回は写真をたくさん頂きました。

せっかくB787の写真が載っているの、特徴をお話させていただきますと本当にこの説明の通りです！

機体を軽くする為に金属を出来るだけ使わないで作った、非常に画期的な飛行機です。この写真では、エンジンの後ろにギザギザが見えますね？これは騒音対策なんです。翼の先が非常に綺麗に尖っています。今までの飛行機は四角いんです。先が細いという事は、飛んでいる時に翼から出てくる渦が少ない。

渦というのは抵抗になるんです。そのため、最近では翼の先端が上に上がっている機体があります。あれも、翼から出てくる渦を抑えて抵抗を減らすという性質があります。

このB787に乗っている後輩達に聞きますと、「あまりにも抵抗が少なくて性能が良いから着陸前の操縦の速度コントロールが難しい。」と言っていました。あまりにも前の飛行機に接近するので、管制塔から速度を落とせと指示が入るのですが、すぐには落とせない。誤解しないでほしいのですが、本当に良い飛行機なんです。良い飛行機であるからこそ難しい。管制から指示が出る前に、速度を落としておけるように段取りをしないとイケません。

B767という飛行機が出始めた頃から、性能がだんだん良くなってきて速度がスーッと出るようになり、着陸には気を付けないといけない、と言われていました。上空へ上がっても性能が良いので非常に良く飛びます。私が現役の頃は、42,000フィートが最大の高さでした。ところが最近の飛行機は45,000～48,000フィートまで飛ぶことが出来ます。そういう所を飛ぶと、空気の密度が薄いので飛行機はよく飛びますが、翼の上を通過する空気の量が密度が薄い分フワフワになるんです。高速ストールと言いまして、普通はストールと言いますと低速で失速です。ところが高速で失速というのがあるんです。

個人的な感覚なので設計者の方には申し訳ないのですが、35,000フィートを超えると何となく息苦しいな、空気が薄くなったのかな？という感覚で飛んでいました。40,000フィートくらいで飛行機の振動を感じます。それはおそらくお客様には解らない感覚だと思うのですが、コックピットの中で「何となく気持ち悪いなあ…。」と言いながら飛んでいました。

私が現役の時の話ですが、まだジャンボが入って来る前です。グアム、サイパン、香港、北京を主に飛んでいました。北京の上空を飛んでいますと、積乱雲が凄いです。35,000フィートでは足りないの、少し上げて飛びます。40,000フィート近くになってもまだある。積乱雲と言うのは絶対に入ってはいけない雲ですから、パイロットは必ず避けます。昔は雲を映すレーダーがあまり良くなって避けられませんでした。中へ入ってしまうと、もう大変です。ひょうのような氷が降って来る、上下左右と雷がある。最悪な所です。サンフランシスコへ夜中に飛んでいると積乱雲の頭が見えないんです。そこへ入ってしまうとえらい目に遭います。そんな時は機体を傾けないように必死で操縦するのですが、お客様は1杯飲んで良い気分の時間です。ドカーンと一発来ることもあると認識していただいた方が良いでしょう。

指導で若い新人機長と一緒に乗る時もありました。まず、ベルトサインをいつオープンにするか、というのが若い機長の課題の一つです。慣れてくると、パッと判断できるのですが、新人の頃はいつにしようか非常に悩みます。指導で横に座っている時に、「いつオープンするねん！」と問いかけ、「じゃあオープンにします。」と言って着用サインを消すと揺れてきたり。早く消し過ぎだとCAから文句が来る事もありました。今後もし飛行機に乗られる事がありましたら、ベルトだけはするようにして下さい。

雲があるという事は水蒸気ですから、上昇気流があるという事です。

